

【 第 4 回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和 4 年 3 月 2 4 日（木） 1 9：0 0～2 1：0 5

場 所：中標津町役場 3 階 3 0 2 会議室

出席者：1 3 名

（中標津町自治推進会議委員 7 名、ファシリテーター 1 名、町長、事務局 4 名）

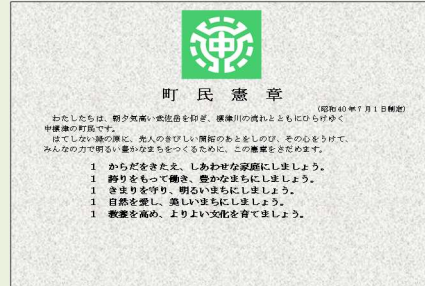
<会議次第>

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

町民憲章 唱和



- （1）解説書の見直しについて
- （2）5 年間の振り返り
- （3）来年度以降の自治推進会議について
- （4）その他

4 閉 会

<配付資料>

- ①令和 3 年度第 4 回自治推進会議次第〔省略〕
- ②中標津町自治基本条例解説書新旧対照表〔省略〕
- ③中標津町自治基本条例解説書変更箇所溶け込みバージョン〔省略〕
- ④自治推進会議による取り組み〔省略〕
- ⑤中標津町自治推進会議名簿（H29 年度委嘱関係分）〔省略〕
- ⑥中標津町自治推進会議規則〔省略〕
- ⑦2021 年度北海道市民ファシリテータープラットフォーム中間報告まとめ〔省略〕
- ⑧第 7 期中標津町総合計画「対話による協働のまちづくり」実現に向けての提案書〔省略〕

<会議結果報告>

1 開 会

2 挨 拶：西村町長、佐々木会長

3 議 題

〔進行：東田ファシリテーター〕



(1) 解説書の見直しについて

事務局

学習会等の意見を基に見直し案を作成し、皆さんに確認いただいたところではありますが、新旧対照表で調整中としていた第 15 条の図について意見が出ていたためこの場で協議いただきたい。

東田ファシリテーター

解説書の変更箇所溶け込みバージョン (R04.03.03 現在) の 17 ページに掲載している『各種団体の位置関係イメージ図』は、NPO の基礎講座で使用している図を基に、中標津町にある町内会、町民活動団体等の位置図がイメージしやすくなるよう作り替えたもの。

委員

学習会の時に、図の中で町内会は共益団体として位置付けられているが公益に係る活動も行っていることから、共益・公益両方の団体に含まれている図になるよう修正することで一致したが、後日東田ファシリテーターより、活動内容ではなく会員の種類、営利・非営利で分けている図であるため修正しなくてもよいのではとの意見をいただいた。しかし、町内会の活動範囲が小さく見え、違和感を感じてしまうため改めてこの場で協議したい。

東田ファシリテーター

どういう組織で作られているかという点では町内会は共益組織となる。たとえば、A 町内会に住んでいる人が B 町内会に入りたいという場合、共益・公益活動を行っていても区域ではっきり分けられているため、これは共益組織といわれるもの。町内会を囲っている輪のみを大きくしてしまうと町内会だけが活動を示した図となり、それ以外は組織を示した図になってしまうためそのように意見したが、これはイメージ図であり、解説書に入れる図としてどういう図がふさわしいかは皆さんと協議して決められたらと思う。

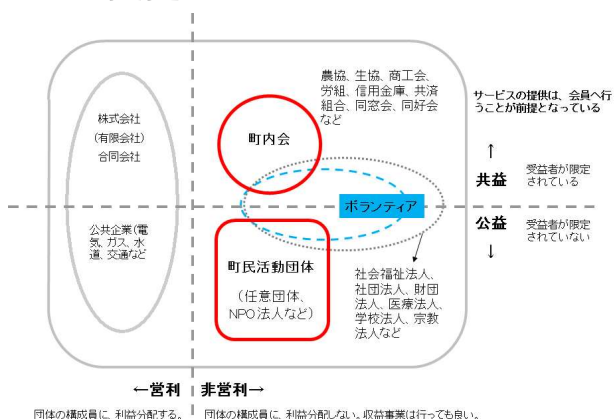
委員

パッと見たときに一般町民が理解しやすい方がいい。

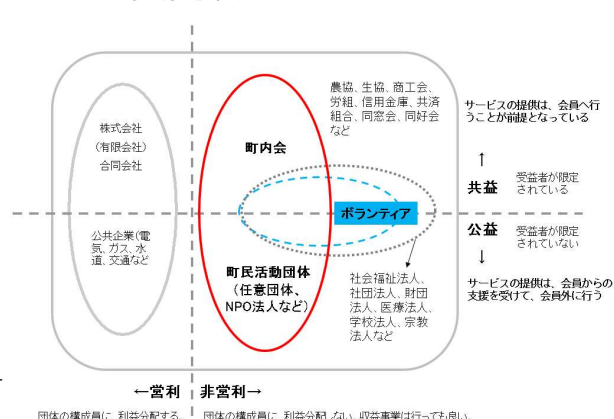
委員

町内会と町民活動団体を囲んでいる赤い輪を一括りにしよう。⇒異議なし

【変更前】



【変更後】



事務局

表紙について本来3月改訂としたいところだが、役場で組織機構の見直しがあり4月から課名が変更することから4月改訂で調整させていただきたい。⇒異議なし

東田ファシリテーター

解説書についてその他意見はあるか。⇒意見なし



解説書の見直し完了！

(2) 5年間の振り返り

事務局

配布資料の自治推進会議による取り組みをご覧いただきたい。正式会議を15回、自主勉強会を19回、全町内会連合会との意見交換会を1回、5年間で合計35回の会議を開催しました。

(3) 来年度以降の自治推進会議について

事務局

まずは来年度以降の体制について、現在は8枠で予算を用意しており、事務局としては次期委員もこの団体構成で派遣を依頼したいと考えている。派遣元の団体等の調整が必要となることから、任期を含めて委員の皆さんから意見を頂戴し、それを基に正式に依頼したい。

委員

以前委員の中に議員を入れてはという意見があった。

東田ファシリテーター

委員に入れるのではなく私達が議員に話を聞きに行く方が良いということで整理した。

委員

後任が5年の任期を全うできるか。若い方がいいならJCを入れた方がよいか。

委員

農業関係など専門系の団体ではなく色々な人が集まっている商工会や財団などがよいか。

委員

事務局の中でどういう知識を持った人がほしいかによる。

事務局

バランスを考えすみわけをしているのが現体制。できればこのバランスを保ちたい。

委員

最初にこの名簿を見たときになぜこの団体構成なのかと疑問を持った。町のことを考えると農業はウエイトを置いている分野だとは思いますが、他の派遣団体と比べると農業関係団体はマッチしていないと感じる。

東田ファシリテーター

中標津町の自治を考えるのに酪農と農業は外せないだろうという経緯があった。

事務局

団体は意識しすぎず一町民、一住民としてまちづくりに対する個人の意見を出していただければと思っている。その中で自分が知っている分野の知識を意見として話し合いの中で盛り込んでもらうイメージ。

委員

5年間委員を務めてとても勉強になった。若い人にこそ学んでもらいたいと感じた。

東田ファシリテーター

そう感じる。今期委員の皆さんが派遣された経緯には、これからの中標津町の自治を考えるのは若い人達の方がふさわしいという前期委員からの強い意見があった。

委員

高校生などを委員に入れるのはどうだろう。

委員

新しい形で面白い。

東田ファシリテーター

3年生は進路の関係もあり実際に参加できるのは6月くらいまでとなる。また、夜の会議の参加は難しく、昼間の会議だと随行の先生が伴うことになると思う。

委員

高校生に限らず学生に意見を聞くのは良いと思う。

東田ファシリテーター

会議の進行上、今期は人数的にとってもやりやすかった。任期は条例で5年と定めているためできれば同じ人が継続して続けてくれるとよい。

事務局

いただいた意見を基に事務局の方で調整したい。所属団体には事務局から打診があるかもしれないということを一言お伝えいただけるとありがたい。

次に来年度の活動についてアイデアをいただきたい。昨年答申書を作成いただいた中で「引き続き検討を行っていただきたい課題」に記述している内容については、来年度以降の自治推進会議に引き継ぎたい。内容としては、自治の基本原則である「情報共有」「町民参加」「協働」の推進について引き続き検討を行っていただくこと、また、じわじわアンケートや広報誌を活用した周知啓発活動の継続、及び町議会や全町連との対話による意見交換会。情報共有については、町民自らが情報を取得する姿勢が欠けていること等の問題点を洗い出し、情報共有がスムーズに行える体制の整備。町民参加については、町民が参加できる機会を広く周知して参加しやすい手法・場所・日時にするなど積極的に参加できる環境の整備。町内会、町民活動団体については、自治基本条例で町内会と町内活動団体を一括りにせずそれぞれ定義づけを行い、役割を明確にするなど継続審議を行うこと。

また、先日、本間委員が所属しているなかしべつ町民活動ネットワーク（N-CAN）さんより町に対して「対話による協働のまちづくり」実現に向けての提案書を提出いただいた。担当課としては、役場と団体のみでなく自治推進会議の中でこの提案に対する議論をしてはいかがかと考えている。具体的には町民のファシリテーターを育成し、町で登録制度を作り活躍の場を与えてはどうかという提案となっている。こちらを引き継ぎ事項として加えるかどうか、他に話し合ってほしい意見があればこの場で承り時期委員に引き継ぎたい。

東田ファシリテーター

答申書に記載している内容は引き継ぐことでよい。⇒異議なし

N-CANからの提案は別組織を設置し検討してほしいと提案したものであるが、自分達の町は自分達の話し合いで決めていくというのが自治であるため、自治推進会議という場を用いて来年度以降協議してもらうのがよいのではと企画課から回答があった。こちらについては引き継ぎ事項に加えてよい。⇒異議なし

委員

話し合いが楽しくなりそうでとても良い。参加する人もそういうネタがあった方がよいと思う。

東田ファシリテーター

他に漫画等の作成など、若い人達に解説書や自治基本条例をわかりやすく説明するための取組をやり残している。これも来年度以降の活動内容に加えよう。

委員

漫画はプロに作成を依頼するという話がでていた。

委員

クラウドファンディングする？

委員

自治推進会議に巻き込めるし絵が上手な学生に依頼するのもいいね。

委員

話は変わるが、自治基本条例は第一回目の自治推進会議から読み込んだ方がよいと感じた。

委員

町民憲章も最初のうちから読み込むべき。もっと広めていきたい。

委員

懇談会は次期も実施してほしい。若い人達とやるのも面白い。

委員

可能かは別として役場のLINEは便利で良い情報ツールであるため活用したい。

委員

今期は新型コロナウイルス感染症の影響もあり ZOOM を活用したが、こういう手法を最初から取り入れ、参加しやすい方法を考えるのもよいと感じる。忙しくても自宅から参加できるため参加しやすい。

事務局

皆さんから承った意見を次期委員に引き継ぎたい。



次期推進会議委員への引継ぎ事項

- 答申書に記載している「引き続き検討を行っていただきたい課題」の引継ぎ
- ON-CAN からの提案に対する協議
- 条例、解説書をわかりやすく説明するための取組（漫画作成等）



(4) その他

事務局

本日は正式な会議のため会議報告を送付させていただきます。また、解説書については15条の図を修正しデータで送付させていただいたのち、議会からの意見を基に修正した箇所もあるため、4月以降に議会にも改正しましたと通知する予定であるためご承知おき願いたい。

改めまして自治推進会議委員として長きにわたり自治基本条例を守り育てていただき、本当にありがとうございました。これを持ちまして令和3年度第4回自治推進会議を終了させていただきます。

閉 会